

ギカイだより

GIKAIDAYORI contents

- 12月定例会の概要……………2
- 一般質問……………3～7
- 委員会レポート・議会日程……………8
- 行政視察レポート……………9～10
- 審議結果……………11



変わりゆく坂出

→詳細は裏面へ

12月定例会の概要

12月定例会では、初日に市長から条例制定案1件、条例の一部改正案12件、補正予算案7件が提案されました。また、9月定例会で継続審査となっていた決算認定11件を認定しました。

さらに追加議案として、補正予算案1件が提案されました。

提案された条例改正案等は、各常任委員会での審査を経て（追加議案は委員会への付託を省略）、いずれも原案のとおり可決しました。なお、市民建設委員会に付託され、審査した請願1件は、不採択となりました。

（議案の審議結果は11ページをご覧ください。）

主な議案を Pick Up

令和7年度
坂出市一般会計補正予算(案) (第4号)

中心市街地活性化公民連携事業 9,126万2千円

中心市街地活性化公民連携事業において、事業の実施段階において、設計の具体化や現地状況を勘案し、当初の計画に対する追加・変更業務が必要となったことに伴い、補正を行うものです。

《内 訳》

坂出駅前エリア 9,126万2千円

- ・公有財産購入費 8,639万3千円
（拠点施設設計追加、立体駐車場・シェルター設計、デジタルサイネージ追加（駅南口））
- ・物件移転補償費 486万9千円

意見交換会を開催しました

教育民生委員会

令和7年11月19日(水) 坂出市教職員会

市役所本庁舎4階委員会室にて、学校現場の現状と課題について意見交換をしました。

主な意見

- 教育設備の改善について
- ICT環境整備について
- 教職員配置・人材確保について など



※総務消防委員会、市民建設委員会の意見交換会についてはガカイだより5月号でお知らせする予定です。

Q&A

一般質問



くすのき 常夫 議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら！

ハラスメント対策について

Q 特別職や議員を対象に含めた条例制定についての考えを伺う。

A 近年、市長や議員によるハラスメント事案の発生により、その防止や抑制を目的に、ハラスメント防止に関する条例を制定する自治体が増えており、議員間や議員と職員との間におけるハラスメント防止を目的とし、外部の有識者からの意見聴取を可能とする自治体や、ハラスメントに特化せず、政治倫理条例をもって制定している自治体もあります。

本市においては、どちらの条例も制定されていませんので、他自治体の動向や先進事例を参考にしながら、市議会とも調整した上で、本市の条例制定に向けて、今後取り組んでいきます。

(市長)

質問の主な項目

- ・ 老人いこいの家について
- ・ 除草について

など

学校給食費について

Q 新年度からの中学校給食費無償化の可能性について伺う。

A 本市では既に小学校給食費無償化を実施していますが、国から小学校の給食費無償化への補助が行われる場合、その予算の一部を中学校の給食費無償化に活用する考えがあることを、令和7年6月定例会においてお答えしました。

国においては、令和8年4月から小学校給食費無償化が実施される見込みですが、国による実施の時期にかかわらず、本市では新年度から中学校の給食費も無償化いたしたいと考えています。給食費の無償化は子育て世代に対する経済的な負担軽減を図るものであり、さらには将来的な本市の人口増加にも寄与するものであることから、国の動きも注視しつつ、迅速に対応していきます。

(市長)



わかすぎ 輝久 議員
公明党議員会



質問の様子は
こちら！

カスタマーハラスメントの防止について

Q カスタマーハラスメント防止条例を制定する考えはないか。

A 今般、国において、改正労働施策総合推進法が令和8年度に施行されることになっており、カスタマーハラスメント対策がハラスメント防止のための雇用管理上の措置義務とされ、今後企業等が措置を講ずるに当たっての指針を国が示し、具体的な対策を進めていくこととされています。

本市においては、令和7年6月に市職員に対するカスタマーハラスメント対策基本方針を定め、行政サービスの向上に努めているところであり、事業者に対しては、HPを作成し注意喚起を行うほか、香川県と協力してカスタマーハラスメント防止に向けた周知徹底を行っています。

条例制定にしましては、社会全体で対応する必要があることから、国及び香川県の方針を注視しながら、本市の方向性を定めていきます。

(建設経済部長)

質問の主な項目

- ・ W・I・F・I設備の設置について
- ・ 移住・定住について

など

外国人材の受入れ・定着に向けた取組について

Q 生活ルールやごみの分別について、農業法人等の民間企業を通じて外国人労働者に周知する仕組みを導入する考えはないか。

A 外国人材を受け入れる際には、監理団体や登録支援機関が日本での生活ルールやマナー、公共機関の利用方法などの生活オリエンテーションを実施しており、生活する上で必要となる基本的な知識についての指導を行っています。

本市においても、ごみの分け方・出し方の講座の実施や、生活ガイドブックの配布など、生活に必要な情報提供をしており、今後多文化共生社会の実現に向け、外国人を雇用する特定技能所属機関などの関係機関と連携しながら必要な支援に努めていきます。

(市長)

一般質問

Q&A



篠原 光一議員
しのはら こういち
無所属



質問の様子は
こちら！

加齢性難聴について

Q 聞こえチェックや聞こえアンケータの実施状況について伺う。

A 今年度より一般介護予防教室の一部内容を見直し、市内医療機関の言語聴覚士による「難聴と認知症」をテーマとする講座を設けており、7月に金山集会所、10月に南部公民館でも開催し、1月には府中公民館で開催予定です。

さらに、聞こえに関するセルフチェックリストを掲載したリーフレットの作成や市ホームページへの掲載を予定しています。

また、「坂出市高齢者福祉計画および第10期介護保険事業計画」策定に向け、令和8年2月より「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を予定しており、その中で、聞こえに関する項目を新たに追加したところです。

今後におきましても、異変の早期発見、医療機関への早期受診、補聴器の使用が認知症予防につながる可能性があることなどを積極的に周知していきます。

(健康福祉部長)

ふれあい収集について

Q 本市のふれあい収集の対象基準、世帯の登録数、収集の具体的手順について伺う。

A 対象基準としては、65歳以上の一人暮らしで、要介護2以上の認定などの一定の要件を満たし、家庭ごみを集積場まで持ち出すことが困難な世帯となっています。また、世帯の方全員が先ほどの要件を満たせば、その世帯も収集の対象となります。

世帯の登録数につきましては、7世帯の登録数となっています。

収集の具体的な手順につきましては、利用者から申請があった場合、申請世帯の居宅を訪問する等必要な調査を行い、利用の可否を決定した後、週1回、利用世帯の住居の玄関前に、分別して出されたものを収集しているところです。

(市民生活部長)

質問の主な項目

- ・移動支援について
- ・国民健康保険について など



わたなべ たくま
渡辺 拓馬議員
国民民主坂出



質問の様子は
こちら！

A-1の導入について

Q A-1を活用したチャットボットによる相談窓口などの導入について市の考えを伺う。

A A-1チャットボットは、市民が入力した情報をもとに各種手続きを案内する機能等を持っており、住民サービスの向上や職員の電話対応等における業務負担軽減に資するものの、誤った情報を案内したり、不適切な表現を行う等の課題も存在しています。

現在、本市が取り組むホームページ改修においては、従来のコンテンツ分類を見直し、住民の利用が多い市役所窓口のレイアウトを意識した利用者目線の構成とすることで、直感的に操作できるユーザーインターフェースを目指しているところです。

ホームページの改修による情報アクセシビリティの向上を図りつつ、一方でA-1チャットボットの技術や精度の進展を検証しながら、ホームページの利便性を補完する手段として導入の是非について検討していきます。

(政策部長)

市内の公園について

Q 子供用トイレの拡充について伺う。

A 本市の都市公園は、現在、和式便器から洋式便器への計画的な改修工事を実施しており、第3期「坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中でも、公衆トイレのあるすべての都市公園の洋式化を目標に掲げています。

令和6年度末時点で、トイレのある都市公園17か所のうち、7か所の公衆トイレで便器の洋式化を完了し、小児用トイレにおいても就学児から大人用の一般的な高さである、約35cm程度のものに改修しており、今年度においても、下川津緑地公園において、トイレの洋式化や、おむつ交換台の設置等を計画しています。

今後、トイレの改修につきまして、幅広い公園利用者の声を聞きながら、就学前の子供用トイレの必要性についても検討し、整備を進めていきます。

(市長)

質問の主な項目

- ・市ホームページについて
- ・ガソリンと軽油の暫定税率の廃止について など

一般質問



とりかい ゆい
鳥飼 由衣 議員
政志会



質問の様子は
こちら！

切れ目のない 出産支援について

Q パパママ学級の運営改善について伺う。

A パパママ学級につきましては、2か月に1回、講義と沐浴体験を午前中に開催しています。

対象者は、以前は妊娠前期と後期の方とを分けて実施しておりましたが、妊娠後期のほうが希望者が多く、出産や入院準備、産後の生活や育児に関する内容が、より具体的に理解が深まり、効果的な支援が行えることから、現在は妊娠後期の方を対象としています。

実施回数につきましては、市民の皆様からのご要望が多い日曜日実施を、来年度はさらに増やす予定としています。

また、会場へ足を運ぶことが難しい方にも参加いただけるよう、オンラインでの受講を可能としているほか、参加がかなわなかった方に対しましては、個々の状況に応じて訪問などで個別対応を行うなど、柔軟に取り組んでいます。

(健康福祉部長)

若年層に対する健診について

Q ヤングきんとき健診について、受診率の目標数値と向上策を伺う。

A 受診率につきましては、令和5年度が6.6%、令和6年度が7.1%、令和7年度は速報値で7.4%となっています。

本市の国民健康保険保健事業を推進するための実施計画である第3期データヘルス計画には、ヤングきんとき健診の具体的な目標数値は現在定めていませんが、近隣の他市町の数値なども参考として、来年度の見直しの際に、まずは10%程度を目標数値として設定することを考えています。

今後、受診券送付時に当該健診の重要性や受診方法をわかりやすく伝える工夫をするとともに、若年層の利用率が高いLINE等のSNSを活用した情報発信を強化し、受診率の更なる向上を図っていきます。

(健康福祉部長)

質問の主な項目

- ・部活動の地域展開に伴う課題について



さいとう よしあき
斉藤 義明 議員
自民党市政会



質問の様子は
こちら！

防災対策について

Q 津波浸水エリア・水位、死傷者数の被害想定の見直し、ラインの被害想定について伺う。

A 香川県地域防災計画の改定を受け、県より示された津波浸水想定区域や最高津波水位などの地震・津波被害想定や、死傷者数、ライフライン等の人的・物的被害想定につきましても、速やかに本市地域防災計画に反映させていきます。

また、最大クラスの南海トラフ地震における本市の発災直後のライフライン被害につきましては、上水道の断水率79%、下水道支障率95%、電力停電率92%、固定電話の不通回線率、携帯電話の停波基地局率とともに92%と非常に厳しい想定が出されています。

(副市長)

公共交通について

Q 地域公共交通利便増進実施計画に対する市民や事業者・関係者の評価について伺う。

A 利用者からの反響が大きいものは、循環バス西ルートの、マルナカスーパーセンター宇多津店へのアクセスです。

また、「Ticket QR」の導入による市民割引は、一度利用した方が継続して利用する傾向が見られ、ほかにも高齢者の運転免許自主返納者向けのプリペイドチケットや、夏休み期間の「中高生サマーパス」も好評を得ています。

交通事業者からは「新たな取組が次々と進むことで地域公共交通の担い手としての意欲が高まっている」との評価が寄せられており、事業者の協力の下で取組をさらに推進できる体制が整ってきています。

なお、これらの取組を推進してきた本市を事務局とする坂出市地域公共交通活性化協議会が、交通関係優良団体として国土交通大臣表彰を受賞することが昨年12月8日に発表されるなど、国からも高い評価をいただいています。

(市長)

質問の主な項目

- ・市立病院について

一般質問

Q&A

質問の主な項目

- ・市民ホールについて
- ・消防体制について

また、本市においては、海中における二酸化炭素の吸収機能を持つ藻場の再生、創出事業をはじめ、民間事業者と連携した市内公共施設等への電気自動車用充電設備の設置、公共施設へのマイボトル用給水機を設置など、公民連携手法を積極的に活用し県内に先駆けた様々な取組を進めていることも評価を受けたと考えています。

(市長)

世界気候エネルギー 首長誓約について

Q コンプライアントバッジを交付された要因及び評価された取組について伺う。

A コンプライアントバッジは、気候変動対策に関する緩和策と適応策において、それぞれ3段階の取組が全て実施されたと認められる自治体に授与されるものであり、本市はこれらの取組を全て実施したことにより、条件を満たし、このたびコンプライアントバッジの交付を受けたものであります。

ひがしはら あきら
東原 章 議員

自民党市政会



質問の様子は
こちら！

メガソーラー対策について

Q 条例制定について伺う。

A 本市では、令和3年9月にゼロカーボンシティを宣言し、太陽光発電を含む再生可能エネルギーの活用は重要なものと位置づけています。一方でメガソーラーについては、景観の悪化や自然環境・生活環境への影響、土砂災害等の防災面、事業終了後の設備の廃棄、地域との共生等の懸念があり、これに対して適正に対応していかなければならないと考えています。

国においては、メガソーラーの法的規制強化に向けて、「太陽光発電事業の更なる地域共生・規律強化に向けた関係省庁連絡会議」が設置されて検討が始まったところであり、2026年通常国会でメガソーラーを法的に規制する施策を実行するとお聞きしています。

本市としましては、そういった国の動向を注視しながら規制内容等を精査し、1年以内に条例を制定していきたいと考えています。

(市長)

瀬戸大橋を活用した 観光振興について

Q 瀬戸大橋記念公園について香川県と連携した新たな整備強化に対する考えを伺う。

A 瀬戸大橋記念公園は瀬戸内海の島々の景観や瀬戸大橋の壮大な姿を楽しむことができる施設として、広く市民や観光客に親しまれており、本市の観光振興においても重要な役割を果たしています。

県による施設整備も進められており、瀬戸大橋を背景に記念撮影を楽しむことができるLEDを備えたハート型モニUMENTが設置されたほか、今年度中には園内の球技場における藤棚の整備が完成する予定であり、来園者の増加が期待されています。

本市としましては、坂出北インターチェンジのフルインター化により県外からのアクセスの向上が見込まれることから、記念公園が持つ多様な施設と瀬戸内海国立公園の拠点であるという特性を活用し、滞在型観光拠点としての新たな整備強化を香川県に働きかけていきます。

(副市長)

おがさわら ひろし
小笠原 浩 議員

国民民主坂出



質問の様子は
こちら！

商店街エリアにおける 移住促進による にぎわい再生について

Q 商店街エリアを重点化し、空き家対策と移住促進を一体的に進めることへの見解を伺う。

A 坂出駅周辺再整備基本構想に定める6つのエリアのうち、商店街エリアにつきましては、「チャレンジャーゲート」とし、空き店舗や空き地を活用したチャレンジを誘発するとともに、本市の利便性を生かした居住空間を創出する場を目指しています。

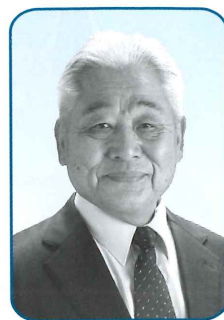
坂出再生に向けては、中心市街地における更なる民間投資を呼び込むため、チャレンジショップや創業支援補助金などの事業者支援との相乗効果を図ることが重要であると考えています。

実際に移住者等による新規出店が、新たな町のにぎわいにつながるケースも生まれており、広報紙に加えて、移住者向けのポータルサイトや冊子においても、このような事例の発信に努めているほか、Sakabizとも連携を図り、移住と起業をテーマにしたセミナーを開催するなど、新たな民間投資につながるよう、重点的に取組を進めています。

(市長)

Q&A

一般質問



すみの
まさあき
角野 正明
議員
自民党市政会

質問の様子は
こちら！



屋外業務に従事する 職員の安全確保について

Q 紫外線対策として色の薄いサングラスやつば広帽子を使用することについて市の考えを伺う。

A 紫外線対策になるつばの広い帽子の使用につきましては、熱中症予防の観点からも有効であり、顔や首元に直接日差しを浴びないよう屋外での業務の状況により使用している部署もあります。

UVカット機能のあるサングラスの使用につきましては、最近、紫外線対策として警察や一部の自治体において着用を認めています。職員が着用することに対し、市民が受ける印象にも配慮していく必要があると考えています。

色の濃すぎないものや、華美でないものを選び、接客等の対面時には着用しないことを心がけるなど、市民に不快感や誤解を与えないよう、今後公務中のサングラスの使用について全庁的に調査を行い、必要とされる基準や注意点を設けて、使用を認めていきたいと考えています。

(総務部長)

リチウムイオン電池や モバイルバッテリー等の 電池使用製品について

Q リチウムイオン電池等が危険なものであることを認識してもらえよう対策について伺う。

A リチウムイオン電池等の危険性や適正な処分については、市広報紙12月号に掲載したところであり、また、使用済小型充電式電池の自主回収及び再資源化を行っている一般社団法人JBCR協力店でも引き取り可能であることも周知を図っているところです。今後とも市ホームページ、ごみ分別アプリ「さんあーる」等を活用し、継続的な周知に努めます。

新たに、次年度においては、各地域のごみ集積場での回収に加えて、モデル的に分別回収拠点を数か所設置予定であり、回収にはリチウムイオン電池等を入れる鉄製の蓋つきの回収ボックスを導入し、拠点回収での回収量や分別状況を調査し、その結果を整理・分析してより効果的な回収方法やその周知方法について検討してまいります。

(市民生活部長)

ラジオ番組「みまい・ききまい・坂出市議会」放送中!!

ラジオ番組「みまい・ききまい・坂出市議会」を放送しています。
市議会の取組や市政の情報について、議員が月替わりで発信しています。ぜひご視聴ください。

(FMサン76.1MHz「Weekdayみつくす内」とKBN地上111ch)

放送日はSNSでお知らせしますので、フォローをお願いします！
(最終ページ参照)

NEW!

KBNのYouTubeチャンネルでの
放送を開始いたしました。
ぜひご視聴ください!

ON AIR

KBN YouTubeは
こちらから!



10/16



11/27



委員会

レポート Report



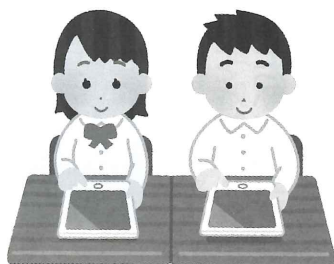
付託議案
11件

教育民生委員会

全議案全会一致で可決

学習用タブレットの更新を行います

国のGIGAスクール構想により、令和元年～2年度にかけて、市内小中学校に学習者用タブレットを配備していますが、初期調達分は運用開始後6年が経過しております。国の指針では、購入後5年を目途にリプレイスすることとされており、県域における令和8年度の共同調達により更新を行います。



付託議案
6件

総務消防委員会

議案第43号については賛成多数により可決、
その他は全て全会一致で可決

緩衝緑地ににぎわい拠点施設を整備します

中心市街地活性化公民連携事業において進めている坂出緩衝緑地再整備に関連し、同緑地内に地元事業者による飲食店や地元特産品の販売等を行う拠点施設を整備し、地域経済の活性化や緑地の魅力化を図るとともに、公民連携事業におけるSPCの構成企業と連携し、拠点施設内のテナント出店事業者を選定することで、両事業の相乗効果を生み出します。



12月定例会の日程

12月 4日	本会議	提案説明 決算審査特別委員会報告への 質疑・討論・採決
12月 9日	本会議	議案質疑・委員会付託
12月10日	本会議	一般質問(個人)
12月11日	本会議 委員会	一般質問(個人) 議会運営委員会の審査
12月12日	委員会	総務消防委員会の審査
12月15日	委員会	教育民生委員会の審査
12月16日	委員会	市民建設委員会の審査
12月18日	委員会 委員会	教育民生委員会 議会運営委員会
12月22日	議員総会 本会議	委員長報告 委員長報告への質疑・討論・採決 追加議案の提案説明 追加議案への質疑・討論・採決

付託議案
5件

市民建設委員会

請願第2号については全会一致で不採択、
その他は全て全会一致で可決

坂出市内企業版ガイドブックを制作します

若者や働く世代に企業情報や魅力を広く発信することにより、若者や働く世代に広く認知してもらい、地元での就職を促すとともに、職を通じた市外からの移住・定住の機運醸成につなげるため、「坂出市内企業プロモーション事業実行委員会」を設立し、同委員会において、市内企業のガイドブック「企業版るるぶ」を作成します。



行政視察 レポート

委員会では、付託された議案等の審査のほか、
所管する事項の諸問題について調査を行っています。

総務消防委員会

神奈川県相模原市 さがみはらみんなのシビックプライド向上計画及び シティプロモーションの取組について

相模原市では、シビックプライドの向上のため、さがみはらみんなのシビックプライド条例及びシビックプライド向上計画を制定・策定しております。継続居住促進、認知度向上、転入促進の目標達成に向けて、さがみはらチャリングパートナーやメディアリレーションの取組、宇宙・子育てなど4つのアピールポイントのプロモーションに注力し、魅力発信に努めていました。



神奈川県川崎市 PFI、Park-PFIによる富士見公園の再整備について

川崎市では、都市公園としての機能回復、スポーツ・文化活動等の拠点機能の強化として再整備を行っています。エントランス広場やインクルーシブな遊びができる広場等の設置、維持管理運営を行うPFI、飲食・物販施設等の設置管理を行うPark-PFIを併用し、魅力あふれる公園の整備に努めていました。

神奈川県厚木市 カーボンニュートラル推進施策について

厚木市では、本市同様2050年までのカーボンニュートラルの達成を目標としたゼロカーボンシティを表明しています。国の重点対策加速化事業交付金を活用した補助制度による再生可能エネルギーの推進や公共施設への太陽光発電設備等の設置、また気候市民会議において市民と協働でアクションプランを作成するなどカーボンニュートラルに向けて着実に取り組んでいました。



教育民生委員会

兵庫県姫路市 部活動地域展開について（スクールバスの活用実証について）

姫路市では、スポーツ・文化芸術活動の持続可能な活動環境の整備として、新たな地域クラブ活動「姫カツ」の体制整備を進めております。令和8年9月から休日の姫カツ実施に向け、スクールバスを活用した実証事業、実施団体や指導者の公募等を行い、持続可能な運営体制の構築に取り組んでいました。

大阪府高石市 スマートウェルネスシティたかいしについて

高石市では、医療費の累積赤字解消に向け、歩行などを中心としたまちの中で生活することが自ずと健康と幸福につながる「健幸のまちづくり」を推進してきました。河川改修整備に合わせた、ウォーキングロードの整備や健幸ポイント事業を実施してきた結果、国保の1人あたりの医療費が令和元年度に前年比で減少するなどの一定の効果が見られました。

京都府木津川市 子育て支援施策について

木津川市では、行政と市民団体が連携しながらの様々な取組を行っており、特につどいの広場事業は市内3か所に設置されており、そのすべてをNPO法人に委託しています。また、商業施設等に設置されているため、保護者が買い物ついでに立ち寄れるなど、保護者の利便性を考慮した事業を実施していました。

行政視察 レポート

委員会では、付託された議案等の審査のほか、
所管する事項の諸問題について調査を行っています。

市民建設委員会

愛知県西尾市 観光振興について

西尾市は、三河湾に面した自然豊かな土地であり、歴史的景観や伝統文化、そして西尾抹茶に代表される地域ブランドを有しています。今回の視察は、同市が地域資源を生かして観光振興とインバウンド誘致にどのように取り組んでいるかを学び、地域経済活性化に向けた施策の参考とすることを目的として実施しました。



愛知県豊川市 インクルーシブ公園について

豊川市で開園されたこども広場は、障がいのあるなしにかかわらず生き生きと自由に楽しめる安全面を意識したユニバーサルデザインを採用しており、さまざまな工夫を散りばめています。本市においても、緩衝緑地の整備、その他の都市公園の整備を行う上で、誰もが安全・安心に利用できる環境整備を行う参考とするため実施しました。



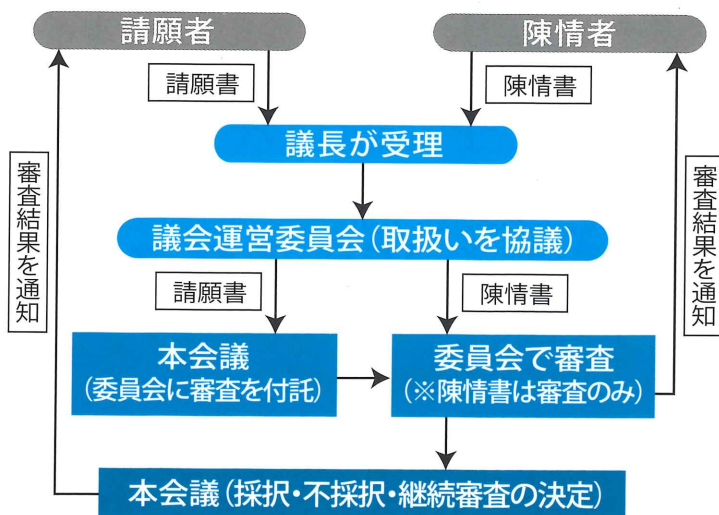
岐阜県瑞浪市 企業誘致・廃校利用について

瑞浪市は2024年の工業立地動向調査によると、立地件数全国第3位となっており、交通アクセスの良さ等、立地条件を生かし積極的に企業誘致を行っています。廃校となった学校建物・敷地を活用した企業誘致にも成功しており、本市が抱えている問題への対応を参考とすることを目的として実施しました。



「請願」と「陳情」 ～あなたの声を市政に！～

請願、陳情は市議会を通じて意見（意見書）や要望を市政や国政に伝える制度で、年齢や資格などの制限は無く、市外の方でも提出できます。請願書の提出には1人以上の紹介議員が必要ですが、陳情の場合は必要ありません。坂出市議会では、請願や陳情を委員会で審議する際に、その願意、趣旨を説明する機会を設けております。



全議員が賛成した議案
(可決・認定)

市長提出議案

予算

令和7年度坂出市国民健康保険特別会計補正予算(案)
(第2号)など 7件

条例

坂出市乳児等通園支援事業の設備および運営に関する
基準を定める条例制定についてなど 11件

決算

令和6年度坂出市国民健康保険特別会計決算認定に
ついてなど 9件

議案内容等の詳細は、
坂出市議会ホームページ
【提出議案等・審議結果】を
ご覧ください。

認定

賛成17名
反対1名

市長提出議案

認定第1号 令和6年度坂出市一般会計決算認定について

認定第9号 令和6年度坂出市後期高齢者医療特別会計決算認定について

賛成

鳥飼 由衣、渡辺 拓馬、小笠原 浩、植原 泰、山下 真司
角野 正明、丸岡 豊和、東原 章、若谷 修治、寒川 佳枝
若杉 輝久、茨 智仁、斉藤 義明、楠井 常夫、大藤 匡文
前川 昌也、大前 寛乗

反対

篠原 光一

可決

賛成17名
反対1名

市長提出議案

議案第31号 坂出市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第33号 坂出市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する
条例制定について

議案第43号 令和7年度坂出市一般会計補正予算(案)(第4号)

賛成

鳥飼 由衣、渡辺 拓馬、小笠原 浩、植原 泰、山下 真司
角野 正明、丸岡 豊和、東原 章、若谷 修治、寒川 佳枝
若杉 輝久、茨 智仁、斉藤 義明、楠井 常夫、大藤 匡文
前川 昌也、大前 寛乗

反対

篠原 光一

不採択

賛成1名
反対17名

請願第2号 坂出駅南口第二駐車場の廃止の再検討に関する請願

採択に賛成

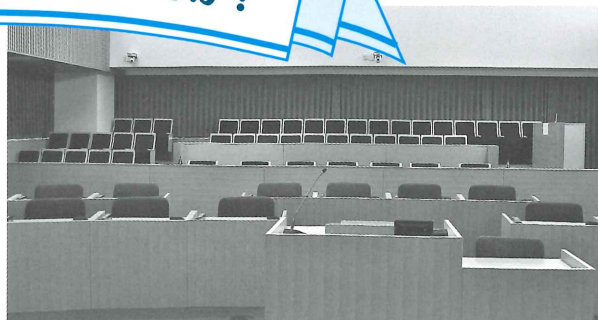
若谷 修治

採択に反対

鳥飼 由衣、篠原 光一、渡辺 拓馬、小笠原 浩、植原 泰
山下 真司、角野 正明、丸岡 豊和、東原 章、寒川 佳枝
若杉 輝久、茨 智仁、斉藤 義明、楠井 常夫、大藤 匡文
前川 昌也、大前 寛乗

議会を傍聴してみませんか?

身近な市政を知るため、また、議員の活動や市議会の様子を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。傍聴される際は、本庁舎正面玄関から入り、エレベーターで4階の議会事務局にお越しください。「傍聴人受付表」に住所・氏名を記入していただくと受付完了です。



変わりゆく坂出

Vol.11 県道16号高松王越坂出線

穏やかな波と多数の島々が織りなす美しい瀬戸内の景観を一望できる大屋富町、王越町間を走る県道16号高松王越坂出線が平成30年7月豪雨による土砂崩れで長期間にわたり通行止めとなりました。

令和2年4月、国からの交付金事業として高松王越坂出線の拡幅工事が着手され、現在は表紙の写真のように埋め立て工事が完了し、1車線通行であった道が大きく拡幅されていることが伺えます。また、車道の整備だけではなく、本路線はサイクリングルート「四国一周1,000kmルート」に位置づけられており、サイクリングがしやすいよう段差のない舗装整備が行われております。令和9年度完成を目標に事業が進められておりますので、完成しましたら、ぜひ心地よいサイクリングを楽しんでいただけたらと思います。



県道16号高松王越坂出線(拡幅前)

議会の情報発信中

坂出市議会では、議会の日程や委員会に関する情報についてSNSで発信しています。ぜひフォローをお願いします。



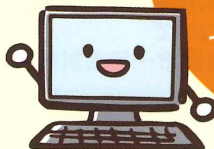
X(旧ツイッター)



フェイスブック



インスタグラム



一般質問の様子は、**KBNの生中継**または**インターネット配信(録画)**でご覧になれます。

インターネット配信は、こちら→のQRコードからアクセスしてご覧ください。



編集後記

2026年になり、早くも1か月が過ぎました。季節の移ろいとともに、子供たちと過ごした節分の思い出を綴ります。寒さの中にも少しずつ春の気配が感じられるこの時期、我が家では毎年恒例の豆まきを楽しみました。例年通り、私は張り切って鬼のお面をつけ、家じゅうを走り回りながら「鬼は外、福は内」と元気いっぱい。子供たちは大泣きしていました。豆があちこちに散らばり後片付けは大変でしたが、その分、家の中には泣き声と笑い声と温かい空気が満ちていました。立春を迎え、日が少し長くなり、季節が新しいスタートへ向かう節目に、家族で過ごす行事の尊さを改めて感じました。子供たちの成長とともに、季節の行事がより豊かな時間として心に刻まれていくことを嬉しく思います。これからも、地域の皆さまとともに季節を楽しみながら歩んでいきたいと思っています。

(渡辺)

広報広聴委員会 委員長……角野正明 副委員長……山下真司
委員……篠原光一 渡辺拓馬 若谷修治
寒川佳枝 楠井常夫 前川昌也

次回開催は…
3月定例会を3月上旬
に、開催予定です。

